



一隅を照らす

さわやかで輝いていた中体連

何事も流行や目立つことに注目が集まりがちですが、誰の目にも止まらないようなものに目を向けて取り組んでいくことも大事だと思います。

みんなが気づいていないほんの片隅(一角)を表す言葉に「一隅」があります。本当は直視しないといけないにもかかわらず、目をそむけているものという意味もあるようです。

一人一人が与えられた役割を果たし、自ら光となり周りを照らし続け、社会を明るくすることを「一隅を照らす」と言ったりします。

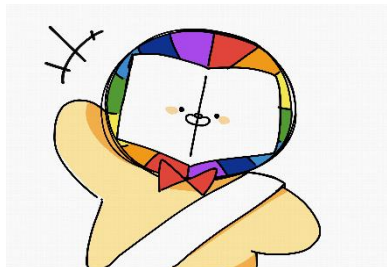
私は学級担任をしていたころ、係活動を大事にしていました。例えば、掲示物係・生活ノート係・配付物係・黒板係等があります。何かの係を一人一人が担当してより良い学級づくりをみんなで行って行くことを話していました。

具体的に、生活ノート係は毎日みんなのノートを集めてくれていました。掲示物係は、毎週配付される便りをクラス掲示してくれたり、月が替わればカレンダーを代えてくれたりしていました。

一人一人の灯が学級全体をととても明るくしてくれていたことに今でも感謝しています。

さて、先週から部活動の集大成として、熊本市中体連大会がスタートしています。

各大会の応援に行くと、北部中の皆さんが「集合」と機敏に行動し、さわやかで素敵な挨拶をしてくれました。また、一生懸命に頑張る選手と共に、用具の準備・片付け、応援等、一人一人がしっかり役割を果たす姿はとても格好良かったです。北部中生一人一人が輝いていました。



自転車ルール・マナー意識向上

安全委員会の点検項目

- ・鍵をかけているか(鍵をつけたまま)
- ・ハンドルがまっすぐ(駐輪場の整理)
- ・ヘルメットの中に紐、たすきを入れているか

安全委員会は、毎週火・木曜日の昼休みの時間を使って自転車の点検を頑張っています。

安全委員会の山中那月さん(3-2)、山下結菜さん(3-1)によると、最近は多いクラスで10人ほどの人がルールを守れていないということでした。

自転車は通学に欠かせないものであり、命を守ってくれるものです。普段からルールとマナーが守られた環境づくりはみんなで行うものと思います。

交通ルール・マナー意識向上に取り組もう!

校則検討委員会



6月13日(火)に生徒・保護者の代表者、学校関係者をメンバーとして、令和5年度校則検討委員会を実施しました。

検討委員会では、①生まれつき持った性質について許可が必要なもの②男女の区別により性の多様性を尊重できないもの③健康上の問題を生じさせないものについての確認等を中心に行いました。全校生徒の皆さんには、7月に内容等をお知らせします。